

MONTHLY SUPPORTER

あなたの月々のご支援が、 持続可能な佐賀の未来を創ります

佐賀県では、様々なCSOが、行政サービスでは対応できない地域課題に立ち向かい、県内の資源「ヒト・モノ・カネ・ジョウホウ」の循環型で持続可能な社会の確立に向けて活躍しています。彼らの活動を支援し、どんな境遇の人たちも取り残さない社会にするために、ご協力いただける「マンスリーサポーター」を募集しています。

ご寄付は、下記の取り組み等の推進の為に
活用させていただきます



さが・こども未来応援
プロジェクト



エリアマネジメント



佐賀災害支援
プラットフォーム



事業評価導入支援研修

マンスリーサポーターになる

月額1,000円よりご支援をお願いいたします。
銀行振込・クレジット決済での寄付のお手続きがオンラインでできる、寄付決済ページをご準備しております。
下記の寄付決済ページにて、「支援の種類」から「基金応援寄付(さがつくサポーター)(毎月)」を選択いただき、手続きを進めてください。

寄付決済ページアドレス

<https://goo.gl/7UdtXv>

スマホの方はバーコード
をスキャンしてください⇒



マンスリーサポーター及びご寄付についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

【SDGsとは】
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

公益財団法人 佐賀未来創造基金

(愛称:さがつく)

〒840-0813

佐賀市唐人二丁目5番25号

TEL 0952-26-2228 FAX 0952-43-7047

URL: <https://saga-mirai.jp/>

2021

ANNUAL REPORT | 令和3年度 年次報告書



公益財団法人
佐賀未来創造基金

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



佐賀の未来を一緒に創る

～ご縁をカタチに! 地域資源循環型社会へのチャレンジ～

公益財団法人 佐賀未来創造基金

代表理事 山田 健一郎

皆さんこんにちは!公益財団法人佐賀未来創造基金の代表の山田健一郎です。

早いもので来年は財団創立から10周年を迎えます。

おかげさまで地域課題や社会的課題の解決に努力されている市民社会組織(CSO)・行政・企業の方々に支えられ今日まで来ることができています。

最近ではコロナ禍で厳しさを増す「子どもの貧困」問題や、「令和3年8月佐賀豪雨」などの災害対策等、単一の団体や組織のみでは解決することが難しく、これからはCSO・行政・企業などが組織の枠を超えて、お

互いの強みを出し合い課題解決にあたる「コレクティブインパクト(集合的価値創造)」方式による協働が求められています。

さらにこの方式による事業運営には、日頃からお互いに「顔の見える関係性」を築いておくことがとても重要です。その為に当財団では地域資源である「人・物・志金・情報」が滞りなく地域で活動される団体に循環するよう努めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

公益財団法人 佐賀未来創造基金
代表理事 山田 健一郎

CONTENTS

- | | | | |
|----|---------------------------|----|---------------|
| 03 | さがこども未来応援プロジェクト／子ども第三の居場所 | 10 | さがつくAWARD2021 |
| 04 | 休眠預金等活用制度による助成事業 | 11 | 2021年度の助成実績 |
| 05 | 冠寄付プログラムによる助成 | 13 | 受賞歴 |
| 07 | 分野指定寄付プロジェクトによる助成 | 14 | 2021年度の会計報告 |
| 09 | 事業指定寄付プログラムによる助成 | | |

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

2021年度の活動報告 | さが・こども未来応援プロジェクト／子ども第三の居場所



新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う こどもの居場所応援助成(さがっこ基金 特別枠)

新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらない中、本年度もさが・こども未来応援プロジェクトを推進し、こどもの居場所関連に約100万円を助成することができました。



2022年度 進学者用「入学応援給付金」

3年目を迎えた「入学応援給付金」ですが、本年度も多くの応募者がありました。

佐賀県内の中学生55名に550万円を支給することができました。



日本財団2021年度「子ども第三の居場所」事業

日本財団の「子ども第三の居場所」の助成事業において、コミュニティ財団の伴走支援事業(全国2例目・九州初)として採択され県内4団体と一緒にこの取り組みを進めています。この事業は、貧困や社会的背景をはじめ、様々な理由で困難に直面する子どもたちが、生き抜く力を養えるようにする

ために、「子ども第三の居場所」を設置して、安心・安全な環境で、生活習慣や学習習慣を身につけ、人や社会と関わる力や自己肯定感などを育み、地域の人々やCSO(市民社会組織)と連携し「みんながみんなの子どもを育てる」社会を目指します。

本事業につき、佐賀県及び公益財団法人日本財団と三者協定を締結し、佐賀県内4拠点(団体)の子どもの居場所開設・運営の支援を行っています。

「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営団体

佐賀拠点 居場所そら NPO法人 空家・空地活用サポートSAGA	唐津拠点 ミライエ 一般社団法人 かがみこどもプラザ	唐津拠点 子どもの居場所『じゃんぷ』西唐津 一般社団法人キラキラヒカル	基山拠点 ここてらす 一般社団法人ここてらす
---	---	---	--



2021年11月15日 佐賀県知事表敬訪問

2021年度の活動報告 | 休眠預金等活用制度による助成事業

休眠預金等活用制度を活用した3つの助成プログラムを実施しています。

①草の根活動支援事業(3年目)



テーマ 人口減少と社会包摂型コレクティブインパクト事業

概要 地域の人口減少に伴う共通かつ汎用性のある課題を3つの重点テーマに設定して、実行団体の支援環境が比較的整っている佐賀県の中で、解決のためのコレクティブインパクト型のモデル事業を募り解決策を見出していくモデル作り事業

助成総額 23,665,260円 **実行団体数** 4団体

②新型コロナ対応緊急支援事業(佐賀・長崎コンソーシアム事業)



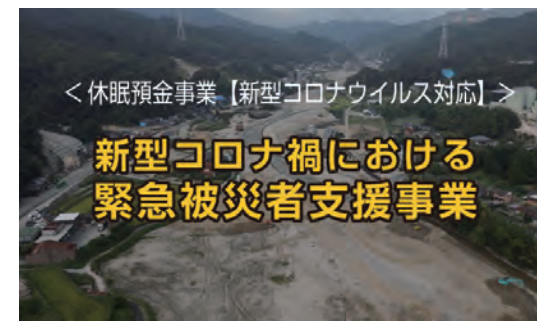
テーマ 新型コロナ禍における地域包摂型社会の構築

概要 佐賀県と長崎県で「医療・福祉」及び「多文化共生」等の現状で支援が厳しい地域間共通課題の解決を目指す。

佐賀県の実行団体数 5団体

2021年度助成額 14,621,000円

③新型コロナ禍における緊急被災者支援事業(佐賀・長崎・福岡・大分・宮崎コンソーシアム事業)



テーマ 九州全県の被災者の緊急・復旧・復興支援

概要 九州各県の災害支援団体や中間支援組織への緊急対応助成(直近で被災した地区を中心に新型コロナ対策を考慮した支援)等

佐賀県の実行団体数 1団体

2021年度助成額 19,000,000円

休眠預金活用とは

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づき、金融機関の口座で10年以上出し入れが確認できない休眠預金を、民間公益活動の促進のために活用する制度が2019年度から始まりました。当財団はこの制度の中で「資金分配団体」に選定され、民間公益活動を行う「実行団体」に資金助成と伴走支援を行っています。



2021年度の活動報告 | 冠寄付プログラムによる助成



第4回荏原環境プラント「e-さが基金」

佐賀市内で環境保護・改善活動をする団体を対象にした第4回荏原環境プラント「e-さが基金」には、チャレンジ、モデル、ネットワークづくりの3部門に9団体からの応募があり、厳正なる審査の結果、下記の8団体への助成が決定し、9月22日にオンラインによる助成贈呈式を行いました。

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
＜チャレンジ事業＞		
① 日本野鳥の会佐賀県支部	コアジサシ営巣地の保護・保全事業	500,000
② NPO法人嘉瀬川交流軸	嘉瀬川流域水路・有明海干潟の環境改善	444,000
③ 浅海干潟環境学Lab	東よか干潟環境教育コンテンツの開発	500,000
④ NPO法人元気・勇気・活気の会	有機物の堆肥化及びアスラップ母材の作り方・生ごみ処理の講座	460,000
＜モデル事業＞		
⑤ NPO法人さがの樹エコトープSATOMORI	自然体験機会の活用と人材育成	700,000
⑥ 神野公園音楽祭実行委員会	東よか干潟で地球環境を考え・行動する日	690,000
⑦ NPO九州さがプロジェクト※	アフターコロナ事業の旗揚げシンポジウム※	800,800
※ 本プロジェクトは団体により辞退されました。		
＜ネットワークづくり事業＞		
⑧ NPO法人温暖化防止ネット	「ゼロカーボンシティさがし」応援WEBサイト作成事業	2,000,000
＜直轄事業助成枠＞		
⑨ 一般社団法人日本環境衛生センター	佐賀市ごみ発電の地産地消学習支援プログラム	634,700



荏原環境プラント株式会社

第4回「e-さが基金」助成贈呈式

2021年9月22日（水）10:00～ Zoomにて



2021年度の活動報告 | 冠寄付プログラムによる助成



2021年度伝統工芸助成

本助成事業は、当財団と「特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン（以下「PWJ」）」との協働事業で実施しています。

PWJは、佐賀では伝統工芸の支援活動として「ピースクラフツ SAGA」プロジェクトに取り組み、商品開発、助成事業、ニーズ調査、情報発信などの活動を行っています。

今回は佐賀県内の伝統工芸事業者で、製作促進、売上増、認知度向上等につながる取組に対し助成しました。

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① 篠原溪山(有田焼)	高台ハギ機購入、生地在庫倉庫屋根改修	500,000
② 大慶(有田焼)	有田焼バターケースの試作品開発	250,000
③ 川上清美陶房(唐津焼)	登り窯の修復	500,000
④ 健太郎窯(唐津焼)	伝統工芸と福祉の連携のための窯製作	500,000
⑤ 鳥巢窯(唐津焼)	「茶箱で野点」体験イベントスペース整備	500,000
⑥ 辻与製陶所(肥前吉田焼)	冷製ボトル製作	250,000
⑦ 江口人形店(弓野人形)	窯の新設	500,000
⑧ スタジオスポンジ(合同アトリエ)	電動ロクロ・ガス窯・土練機整備	500,000



2021年度 伝統工芸助成 取組レポート

2021年6月～12月末日までの助成期間中、各事業者が実施した事業の取組レポートを公開しています。

<https://bit.ly/3GkmVC7>





ニセ電話詐欺から高齢者を守る事業

佐賀県では、ニセ電話詐欺被害が高水準で推移しており、その多くは“人のよか（ひとがいい）”佐賀の高齢者が、犯人の言葉を信じてだまされてしまい、大事な老後の生活資金などをだまし取られています。

だまされた高齢者は経済的ダメージだけでなく、被害にあったショックと恥ずかしさも重なり家族にさえ言えない深刻な状況に陥ることもあり、被害が顕在化しないことでより深刻な問題になっています。

①佐賀県・佐賀県警察本部・佐賀未来創造基金が協働して、ガバメント・クラウドファンディング（GCF）による支援金の募金を行いました。（2020年12月1日～2021年3月31日）

②佐賀県出身のシンガーソングライター・カノエラナさんに応援ソング「にゃんこパトロール」を作詞作曲していただき、2021年6月にメートプラザ（佐賀市）にて発表会を開催しました。

発表イベント動画

Music Video

「にゃんこパトロール」Youtube動画のご紹介



③GCFで集まった募金を元に「にゃんこパトロール♪基金」が設立され、活動団体募集と「高齢者ニセ電話詐欺被害防止等に係るアイデアコンテスト」を行いました。（2021年6月26日～9月30日）

活動団体には下記の3団体が、アイデアコンテストは6チーム1個人が選ばれました。

助成団体名	助成事業名
① NPO法人消費生活相談員の会さが（佐賀市）	「だまされんばい！カレンダー」作成配布事業
② 認定NPO法人日本レスキュー協会（佐賀市）	高齢者施設へのセラピードッグ派遣事業
③ NPO法人シニアネット佐賀（佐賀市）	高齢者対象のパソコン講座での啓発事業



2021年11月19日、佐賀県庁にて高齢者ニセ電話詐欺撲滅「にゃんこパトロール基金」の助成贈呈式を開催。

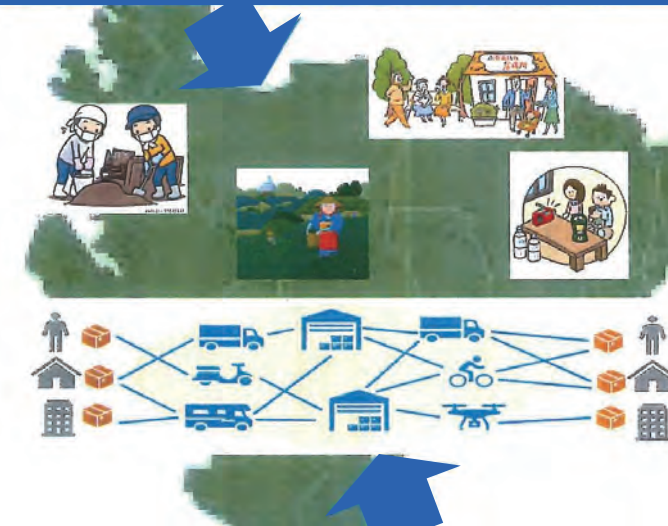


佐賀災害基金

（一社）佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）と協働して、平時から定例会及び運営会議の実施、研修会の開催、各市町での三者連携（市町・社協・地域CSO）及び賛同団体募集ならびに各市町等と協定を行うなど、「普段からお互いの顔がわかる活動」をつづけており、災害時には緊急に「葉隠会議」（情報共有

会議）を開催し、クラウドファンディングなどによる「資金調達」を行いました。「令和3年8月佐賀豪雨」においても官民連携での災害支援を実施しました。

コロナ対策を前提とした多様な支援
①-1 被災者支援団体 ①-2 被災した災害弱者支援団体
② 在宅避難者や被災した地域地場産業等の支援



③物資・資金・情報のロジスティック体制の構築
・県内各拠点でのハブ団体設置
・各地区でのニーズ把握
・物資・資金・情報の最適配分



2021年度の活動報告 | 事業指定寄付プログラムによる助成



サガン鳥栖を応援する事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響や監督の交代、主力選手の移籍などで厳しい経営状態にあるサッカーJ1 サガン鳥栖を支援する佐賀県内の経済団体などをつくる支援組織「サガン鳥栖AID」に、当財団がクラウドファンディングで集めた寄付金を贈呈しました。

寄付金は、2020年5月に2,500万円、2021年3月に1,800万円の計4,300万円を贈呈しました。



2021年5月2日 佐賀新聞



2021年度の活動報告 | 地域支え愛基金(地域型基金) ~より地域へより課題へ~

各地域の中間支援組織や災害及び環境などの各分野で支援者目線を持つCSO(市民社会組織)と連携して地域型基金を創設しています。



鳥栖市 第3回「NPO応援GO!GO!基金」

認定NPO法人と市民活動ネットワークとの連携での佐賀県東部地区ボランティア・市民活動を行っています。または始めようとするグループ・団体・高校生・大学生グループ等への活動助成基金(毎年30万円程度)



武雄市「おもやい協働基金」 嬉野市「災害対応防災等基金」

豪雨災害や今後の防災のための基金として設立。嬉野市は佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)(共同代表山田健一郎)と災害支援協定を締結。市社会福祉協議会や市商工会、JAさがも協力団体として支援に加わっています。



佐賀市「荏原環境プラントe-さが基金」 唐津市「虹の松原応援基金」

各市町圏域での環境保全活動等に資する基金。「荏原環境プラントe-さが基金」は佐賀市内で環境保護・改善活動を行う団体を対象に2018年に荏原環境プラント(株)様により設立され毎年1,000万円を拠出いただいております。「虹の松原応援基金」はあいおいニッセイ同和損害保険株式会社様からのご寄付により設立されました。

2021年度の活動報告 | 寄付文化の普及啓発事業 さがつくAWARD2021



2年ぶりとなる「さがつくAWARD2021」をオンラインにて開催しました。(2021年3月14日)

行政・企業・CSOなどから総勢61名の参加者様と共に有意義な時間を過ごすことができました。

第1部 基調講演

「災害支援のファンドレイジングについて」

日本ファンドレイジング協会 代表理事 鵜尾雅隆 氏



第2部 トークセッション

「佐賀の災害支援～これまで、そして今後に備えるために～」

令和元年及び令和3年佐賀豪雨災害対応について、よかった点と課題について発表いただきました。

登壇者



一般社団法人おもやい 代表理事 鈴木隆太 氏

令和元年8月の佐賀豪雨にて地元武雄市が被災し「おもやいボランティアセンター」を立ち上げ、代表として地元の復興に奮闘中



災害NGO結 代表 前原土武 氏

発災後24時間以内に災害地に駆け付け、被害の概況発信や今後必要とされる支援を見立て、復旧復興期まで幅広く支援調整業務を行っている。



大町町地域おこし協力隊 公門寛稀 氏

令和2年10月より大町町地域おこし協力隊の「災害支援担当」として就任。地域主体の災害対応・地域力を高めるための仕組み作りに取り組んでいる。

コメンテーター

佐賀県社会福祉協議会まちづくり課
係長 小松 美佳 氏

2021年度の助成実績

◆ 冠寄付による助成実績

荏原環境プラント「e-さが基金」

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
第4回 助成実績一覧は5ページに記載	-	5,928,700
第3回 NPO九州さがプロジェクト	(前年度採択の完了払い)	1,457,000
合計:7,385,700		

NPO法人ピースウィンズ・ジャパン 2021年度伝統工芸助成

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
助成実績一覧は6ページに記載	-	3,500,000

株式会社佐賀新聞社 第4回「GOgoさがスポ基金」プログラム

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① (一社)佐賀県バスケットボール協会(佐賀市)	2024 佐賀県スポーツ大会に向けた競技力向上講習会	200,000
② NPO法人ATLETICO VIVO SAGA (佐賀市)	障がい者サッカーチームとの交流サッカー大会開催	200,000
合計:400,000		

◆ 分野指定寄付による助成

新型コロナ対策(医療にエールを)助成事業

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
佐賀県内の感染症指定医療機関25団体	-	4,746,729

ニセ電話詐欺から高齢者を守る事業

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① NPO法人消費生活相談員の会さが(佐賀市)	「だまされんばい!カレンダー」作成配布事業	398,339
② 認定NPO法人日本レスキュー協会(佐賀市)	高齢者施設へのセラビードッグ派遣	328,180
③ NPO法人シニアネット佐賀(佐賀市)	高齢者対象のパソコン講座での啓発活動	63,660
④ アイデア部門 6名		78,800
合計:868,979		

新型コロナ対策基金

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① 認定NPO法人とす市民活動ネットワーク	「まちづくりスポット鳥栖」への感染予防機材購入	100,000
② (一社)おもやい	自宅待機などの家庭への食料支援活動	100,000
③ NPO法人ベネッセの会	コロナワクチン接種における移動困難者の無料送迎	100,000
④ (一社)文化芸術の泉 アール・フォンテヌ	コロナ禍においても活動、イベント継続のための感染予防徹底にともなう備品購入	100,000
合計:400,000		

佐賀災害基金

助成実績一覧は、佐賀未来創造基金のWEBサイトでご確認いただけます。

<https://bit.ly/3US5psF>

助成合計金額(円) 5,503,200



さが・こども未来応援基金

助成実績一覧は、佐賀未来創造基金のWEBサイトでご確認いただけます。

<https://bit.ly/3X30VBm>

助成合計金額(円) 11,082,982



◆ 休眠預金による助成

草の根活動支援事業助成

助成実績一覧は、佐賀未来創造基金のWEBサイトでご確認いただけます。

<https://bit.ly/3TBp4fo>

助成合計金額(円)

23,665,260



新型コロナ対応緊急支援事業助成

助成実績一覧は、佐賀未来創造基金のWEBサイトでご確認いただけます。

<https://bit.ly/3rELYqz>

助成合計金額(円)

14,621,000



新型コロナ対応緊急支援事業(随時募集)

助成実績一覧は、佐賀未来創造基金のWEBサイトでご確認いただけます。

<https://bit.ly/3DyBYpE>

助成合計金額(円)

19,000,000



◆ 日本財団2021年度「子ども第三の居場所」事業

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① NPO法人空家・空地活用サポートSAGA(佐賀市)	佐賀県における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営	18,800,000
② (一社)キラキラヒカル(唐津市)	同 上	3,931,200
③ (一社)かがみこどもプラザ(唐津市)	同 上	40,705,239
④ (一社)ここてらす(基山町)	同 上	5,148,000
合計:68,584,439		

◆ 事業指定寄付・その他による助成

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① サガン鳥栖AID	サッカーJ1サガン鳥栖を応援する事業	43,137,820
② NPO法人空家・空地活用サポートSAGA(佐賀市)	令和3年度CSO未来への一歩応援事業	300,000
③ 赤松まちづくり協議会(佐賀市)	令和3年度CSO未来への一歩応援事業	300,000
④ NPO法人灯す屋(有田町)	令和3年度CSO未来への一歩応援事業	300,000
⑤ (一社)おもやい(武雄市)	令和3年度CSO未来への一歩応援事業	300,000
⑥ (一社)キラキラヒカル(唐津市)	令和3年度CSO未来への一歩応援事業	300,000
⑦ 鎮西西宮社再建委員会	鎮西西宮社再建プロジェクト事業	1,200,000
⑧ 富士町協力隊	星と湖に囲まれた山のシェアオフィスを創る	2,944,700
⑨ Greeting From さが	フードバンク立ち上げ事業	50,500
⑩ NPO法人かいろう基山	森林を侵食する竹材の駆逐事業	5,058
合計:48,838,078		

県政功労者知事賞を受賞



佐賀県では、明治16年5月9日に現在の県域による「佐賀県」が誕生したことを記念して、毎年5月に県政の各分野で貢献した人を県政功労者として知事表彰を行っており、本年度は当財団 代表理事 山田健一郎が、令和3年度 県政功労者知事賞（共生・協働部門）を受賞しました。

令和3年度佐賀豪雨対応への知事感謝状を受領



令和3年8月の記録的大雨への対応に尽力した、県内全20市町の消防団や企業等42団体に知事感謝状が贈呈され、当財団も受領しました。



2021年度の会計報告

正味財産増減計算書

(単位:円)

(1)経常収益	
基本財産運用益	60
基本財産受取利息	60
特定資産運用益	706
特定資産受取利息	706
寄付金振替額	98,532,803
事業指定寄付振替額	50,620,258
分野指定寄付振替額	26,919,476
冠寄付振替額	11,285,700
基金応援寄付振替額	4,484,281
ふるさと納税寄付振替額	5,223,088
事業収益	5,905,000
CSO未来への一歩応援事業(佐賀県)	5,805,000
その他の事業収入	100,000
受取補助金等	164,482,584
民間助成金振替額	164,482,584
雑収入	194,848
受取利息	317
雑収入	194,531
経常収益 計	269,116,001
(2)経常費用	
事業費	267,531,650
①社会的課題解決及び新しい価値の創造のための事業を行う市民社会組織、企業及び個人並びに日常生活又は社会生活を営む上で困難を有する者の支援に必要な資金等の資源を募り、確保する事業	3,300,105
②CSO、企業等及び社会的弱者に対する助成、顕彰、報奨、融資、債務保証及びその他必要な資源を提供する事業	87,906,960
③社会的課題解決及び新しい価値の創造のために、地域の動産、不動産などの資源の利活用及び運用に関する相談、コンサルティング事業	1,514,822
④CSO、企業等の組織基盤強化のための人材及び組織の育成事業	2,230,397
⑤CSO、企業等、社会的弱者及び資源提供者に対する相談、コンサルティング事業	1,604,822
⑥社会的課題解決及び新しい価値の創造に関する普及啓発及びセミナー事業	2,197,004
⑦社会的課題解決及び新しい価値の創造に関する調査研究及び情報発信事業	2,048,371
⑧社会的課題解決及び新しい価値の創造のための県内外の各関係支援機関との連絡調整及びネットワーク構築並びにこのネットワークを活用したコレクティブインパクト事業	9,139,366
⑨CSO、企業等及び社会的弱者の支援に関する受託事業及び補助事業	157,589,803
管理費 法人の管理運営に係わる経費(管理費)	4,200,339
経常費用 計	271,731,989
当期経常増減額	-2,615,988

貸借対照表

(単位:円)

(1)資 産		(2)負 債	
流動資産	318,967,539	流動負債	289,882,450
現金	99,798	未払金	159,282
預金	318,867,741	短期借入金	2,160,000
未収金	0	未払消費税	277,100
立替金	0	預り金	668,068
固定資産	87,408,906	仮受金	286,618,000
基本財産(県民の皆様からの寄付による設立時資産)	3,000,750	固定負債	27,840,000
特定資産(寄付受入預金)	63,219,966	長期借入金	27,840,000
休眠預金受入預金	21,188,190	負債合計	317,722,450
資産合計	406,376,445	(3)正味財産の部	
		指定正味財産	87,408,906
		一般正味財産	1,245,089
		正味財産合計	88,653,995
		負債及び正味財産合計	406,376,445